



あらき由美子 くらしの相談センターだより

2025年 9月196号

南区通町1-12-4-104 TEL:045-714-1820 FAX:045-714-1825
 ☒: araki.jcp@gmail.com 発行: 南区くらしの相談センター

介護保険は誰のため?

要介護5の母、介護保険では

本人も
家族も

穏やかに暮らせない

脳梗塞で入院したAさんの母親は、食事ができるように回復してきた所で再度脳梗塞を起こし、経鼻胃管挿入になりました。これ以上病院での治療手段はないからと、胃ろうになって退院。在宅介護になりました。



要介護5、重度障害認定、毎日数回の痰の吸引とおむつ交換が必要な母親を、1人息子のAさんが介護休業の上限93日間を取って看ています。介護休業中は無給です。

施設入所を希望していますが、胃ろうなので入所出来る施設がなかなか見つかりません。

退院後は訪問診療と訪問看護、週2回の訪問入浴と週7日朝夕2時間ヘルパーが来ています。介護サービスの利用を増やせば、費用負担も増えます。在宅介護が経済的にも、精神的にもこんなに大変だとは経験するまでわかりませんでした。これからどうなるのか心配です。

雇用保険には介護給付金があります。最長93日を限度に、給与の67%が支給されます。しかし申請は介護休業が終わってからなので、休業中は給付されません。



2000年に始まった介護保険が創設25年を迎えました。制度は3年ごとに見直されますが、改善ではなく改悪されています。

特養の入所は要介護3以上になり、施設利用料の自己負担率が増えました。費用の負担軽減制度の条件も厳しくなりました。在宅サービスはヘルパー派遣利用時間が短くなりました。

日本共産党は

介護提供体制の危機と言われる現状に、介護保険の国庫負担分を25%から10%増の35%にし、公的助成で介護職の賃上げや介護報酬底上げによる介護事業所の経営継続を支援する事等を提案しています。

あなたの声を市政に届けよう!

私たちは、みなさんから寄せられた市政への要望や質問・暮らしの要望をまとめて南区役所へ伝える「対区交渉」をおこなっています。

現在、秋に予定している対区交渉に向けてみなさんの声を集めています。

要望を受け取った南区役所は、すべての要望を区役所内・市役所・警察等の担当部署に伝え、半年後位に回答書が届きます。もちろんすべてが解決する訳ではありませんが、対応できない理由も説明する真摯な対応です。

地域バスの実証運行が始まった地域があるの? 私の地域にも欲しい

道路の白線補修やカーブミラー設置で歩きやすくなりました

花博は財政的に大丈夫なの?

路肩の穴を埋めてくれた

市大病院統合でベット数が減るそうだけれど地域医療は大丈夫なの?

井土ヶ谷駅前の水道局跡地にできる施設に、タクシー乗り場ができる!

補聴器助成が実現したけれど、もっと対象等を広げてほしい

南区関連以外の要望でも結構です。みなさんの声は、あらき事務所へTEL・FAX・メール・郵便などでご連絡ください。



こちらのQRコードからも、ご意見・ご要望をお寄せください。



『おでかけ号』8月1日から実証運行スタート



横浜市“みんなでおでかけ交通事業”を活用した地域バスの実証運行が、三春台・清水ヶ丘地域を走る『おおたループバス』に続いて、六ッ川・永田山王台・永田南地域でも始まりしました。名称は『おでかけ号』です。

黒い車体には、おでかけ号の文字と永田山王台の鉄塔山が描かれています。これは地元の県立横浜国際高校美術部の生徒が担当しました。

運行ルートは弘明寺駅や商店・病院がある弘明寺口から、標高91m南区最高地点の鉄塔山付近まで上って行きます。

鉄塔山：警察無線の鉄塔が立っています



実証運行は2年間です。1年目は収支率25%(1日38人)、2年目は35%(1日53人)が目標です。みんなで利用して、本格運行につなげましょう。

収支率：収入に対する支出の割合